



看護部だより



第106号
2020年11月10日
国際医療福祉大学病院 看護部

新人看護師6ヵ月フォロー研修



9月25日(金)に新人看護師6ヵ月フォロー研修が行われました。研修会では、6ヵ月間の学びや今後の課題についてグループワークを行いました。自己の課題を明確にし、今後のステップアップに活かしていきましょう。



入職当初と比べると日々の業務に慣れ、できることが増えてきたと感じる一方で、ミスや知識不足で落ち込む事が増えました。しかし、先輩方が支えてくださるおかげで、めげずに頑張ることができています。今後は、看護を業務的に行うのではなく患者様お一人おひとりと向き合い、自分にできる看護を考え実践していきたいと思います。

B棟4階病棟 國分 小麦

6ヵ月フォロー研修では、病棟ごとの強みや類似する課題を共有し、自分たちの達成すべき目標や筋道を考え、設定することができました。今後は疾患や治療に至る背景に対しても目を向け、一つ一つのケアに裏付けを持って実践できるように学びを深めたいと思います。急変などの難しい対応は、その都度先輩や同期と振り返りを行い徐々に身につけていきたいと思います。

B棟5階病棟 木口 明日香

6ヵ月フォロー研修を通して、半年間で自分が少しずつ成長できていることを実感し、日々指導してくださる先輩方や実地指導者の方々の支えがとても大きいことに気がきました。できることが増えてきたからこそ、自分の看護に責任を持ち、個別性のある看護を提供できるようにしていきたいと思います。

B棟5階病棟 西場 絢香

防災ミニ訓練

防災委員会では月に一度、各部署にて防災ミニ訓練を行っています。防災ミニ訓練では、災害に備えて避難経路の確認や緊急連絡網の確認、消火器や防災グッズの点検などを行っています。災害時に慌てずに行動できるよう、是非、積極的に防災ミニ訓練への参加をお願いします。

※写真はB棟3階病棟での訓練の様子です。



物品チェックをしています

赤ちゃん和妈妈は一緒に避難します



感染管理認定看護師

C棟4階病棟配属の感染管理認定看護師です。病棟の通常業務が中心ですが、病棟内の環境を整えたり、血液内科病棟として無菌室（クリーンルーム）マニュアルを作成したり、病棟内の感染管理に係る仕事も担当します。昨年度から擦式アルコール製剤の使用量増加に本格的に取り組み、スタッフの努力で今年度はラビング係数が目標の20以上になりました。忙しい中ですが、マニュアルが完成したり、目標達成の喜びをかみしめたりしながら毎日働いています。

C棟4階病棟 西尾 こゆる



無菌室の
パンフレットです

特定行為看護師

特定行為看護師は、侵襲の高い処置が実施できるだけではなく、疾患に対する知識や治療内容について、専門的な知識のもと、患者様の病状をタイムリーにとらえ、検査や処置を行い、適切な説明を行うことが可能です。治療方針などを的確に理解し、治療と看護の両方の視点から患者様や家族に関われることが特徴です。現在では循環器内科と救急を中心に患者様・スタッフの皆様のお役に立てるよう、院内を横断的に活動しています。

特定行為看護師 平久井 祐貴



他部署 紹介

地域医療連携室



地域医療連携室は、前方支援（地域の先生方との紹介等の連携）、後方支援の医療相談室（退院支援や介護・福祉の調整等）の業務をしております。「地域全体で地域を支えよう」をスローガンに、地域連携を推進しております。患者様お一人おひとりに最適な医療・福祉サービスができるよう、私たちは地域と病院の橋渡しをし「顔の見える連携」を心がけ、より一層お役に立てるよう、質の高い連携を目指して、さらに努力を重ねていきたいと思っております。

地域医療連携室 室長代理 吉成 和子

編 集 後 記

たくさんの方々にご協力いただき、無事に看護部だより秋号を発行することができました。ご協力ありがとうございました。秋号を通して皆様に新人看護師の成長や看護部の活動を知っていただけたら幸いです。次回は冬号になりますので、楽しみにしてください！

看護部だより編集委員会

B棟3階病棟 三星 結生・B棟4階病棟 篠田 菜穂・B棟5階病棟 椎貝 友紀

